

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》石垣 則昭（非常勤講師）

【概要】

グローバル化の進展の中、自律的に未来を切り開き生きていくためには変化に対応できる能力が求められる。そのためには自分らしいキャリアを確立させながら人の多様性を理解し、互いに協調し共生社会の実現を目指すことが極めて重要な課題であり、その根幹を成すのはコミュニケーション力である。本講義では単なる理論に留まらずコミュニケーションの原理を概説し、日常生活での人間関係のあり方を深める実践的コミュニケーションを学習する。

【学習目標】

- キャリア形成の今日的意義を理解する。
- 共生社会の実現の意義を理解する。
- 人間形成・社会形成能力を理解する。
- コミュニケーションのあり方を深める。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	コミュニケーション実践論 の進め方とコミュニケーションを学ぶ社会的意義の理解	講義の進め方、評価方法、知識構築型ルーブリックの活用による評価、コミュニケーションを学ぶ社会的意義を理解する	石垣 則昭
2	社会的構造の変化の要因と課題の理解	我が国における構造的変化がもたらす要因と課題を理解する	石垣 則昭
3	我が国における構造的変化がもたらす生活意識の変化の課題解決策の理解	我が国における構造的変化がもたらす生活意識の変化などの課題解決策について理解する	石垣 則昭
4	キャリア教育提唱の経緯や定義の理解	キャリア教育提唱の経緯や定義を今日のコミュニケーションの課題に併せ理解する	石垣 則昭
5	キャリア教育の課題についての考察と理解	キャリア教育の課題を資料により考察し理解を深める	石垣 則昭
6	合理的配慮によるインクルーシブ教育の理解	合理的配慮によるインクルーシブ教育の構築を共生社会により理解する	石垣 則昭
7	共生社会を目指したインクルーシブ教育の課題への理解	共生社会を目指したインクルーシブ教育の課題を資料により考察し理解する	石垣 則昭
8	キャリア教育提唱の意義、共生社会を目指したインクルーシブ教育の進展への理解	キャリア教育提唱の意義、共生社会を目指しインクルーシブ教育の進展について理解する	石垣 則昭
9	対人関係で考えるコミュニケーションの理解	対人関係で考えるコミュニケーションについて資料により考察し理解を深める	石垣 則昭
10	人間関係の心理学の基礎的理解（1）	人間関係の心理学の基礎を考察し理解を深める（1）	石垣 則昭
11	人間関係の心理学の基礎的理解（2）	人間関係の心理学の基礎を考察し理解を深める（2）	石垣 則昭
12	人間関係の心理学の基礎的理解（3）	社会心理学から捉えるコミュニケーションを概説、協議により理解を深める。	石垣 則昭
13	社会心理学から捉えるコミュニケーションの理解（1）	社会心理学から捉えるコミュニケーションを考察し理解を深める（1）	石垣 則昭
14	社会心理学から捉えるコミュニケーションの理解（2）	社会心理学から捉えるコミュニケーションを考察し理解を深める（2）	石垣 則昭

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
15	学習を振り返りコミュニケーションのあり方を展望	学習を振り返り今後のコミュニケーションについて展望をする（学習のまとめレポート課題提示）	石垣 則昭

【評価方法】

レポートによる評価 100%（課題レポート600字程度×3回、学習のまとめレポート8000字程度1回）

【備考】

教科書：使用しない

その他：講師による自作資料（掲示物、配布物、など）DVDを使用する。

【学習の準備】

・本学習はアクティブラーニングの技法を用い、意見交流を含めた各種グループ活動の機会を設け、社会生活を送る上での根幹であるコミュニケーション実践力を高める。学習の予習（60分）は、配布資料の熟読、さらに学修内容の予告に従い関連書籍により学習課題の習得に努めること。さらに復習（60分）は、ノート、資料、関連書籍により学習内容を見直し学習の確認と深化に努める。

・講義への参加意欲を高めるため、学習過程における形成的自己評価である知識構築ルーブリックを活用し学習を進める。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP-2.（社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している）

DP-3.（社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している）

上記に掲げる心理学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

- ・日本教育カウンセラー協会「上級教育カウンセラー」「ガイダンスカウンセラー」
- ・日本協同教育学会「ベーシクトレーナー」

【実務経験を活かした教育内容】

義務教育学校、教育行政、社会福祉法人での勤務を活かし、教育心理、社会心理、認知心理の視点によりコミュニケーションのあり方を実際の場面を想定し学修する。